



## 電池にはどんな種類があるの

### いろいろな乾電池

乾電池は、太いものから順に、単1、単2、単3とよばれ、電圧は、どれも1.5ボルトです。しかし、使える電気の量は単1、単2、単3の順で小さくなります。

電池をつくっている物のちがいによって、マンガン電池、アルカリ電池があります。形や大きさもちがう、積層電池、水銀電池などいろいろあります。

アルカリ電池は、長く使えるのが特長です。積層電池は、中で電池が重ねてあり、電圧は高くなっています。また、水銀電池は小形ですが、すぐれた性能をもっています。

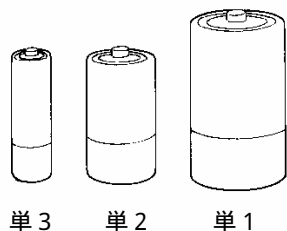
### くり返し使える電池

乾電池は、一度電気を使い切ったら二度と使えません。

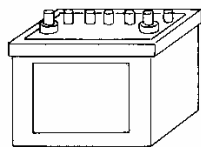
蓄電池は一度電気がなくなっても、外から電気を取り入れて、もとの電気の量にもどるようなしくみになっているので、くり返し使うことができます。

最近では、くり返し使える電池にニッカド電池（ニッケルカドミウム電池）があり、ビデオカメラやノート型パソコンなどに使われています。また、太陽の光のエネルギーを電気に変える光電池（太陽電池）があります。（監修・小川 格）

乾電池（マンガン電池）

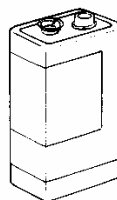


単3 単2 単1



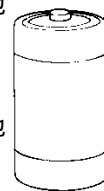
蓄電池

ニッカド電池



積層電池

水銀電池



アルカリ電池

太陽電池

